

## 販路開拓を目指して個別マッチング商談会

「大洲のええモン」を全国のバイヤーに売り込む商談会が、8月3日(月)、大洲市役所で開催されました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、初めてオンラインでの商談会となりました。大洲ええモンセレクション認定事業者や6次産業化事業者など市内の5事業者が参加しました。

### 【商談会に参加した事業者】

(有)のうえ果樹園、(株)梶田商店、  
(有)玉井民友商店、(有)富永松栄堂、  
(有)長浜木履工場（五十音順）



「常に履き心地を追求した下駄です」とアピールする  
(有)長浜木履工場さん



「こだわり抜いた志ぐれの製法です」と熱心に説明する  
(有)富永松栄堂さん

大洲の風土で生まれた商品の特長や魅力について、試食などを交えて熱心にアピールしました。この商談会は、大洲ブランド魅力創出事業の一環であり、今回で5回目の開催です。今後も、事業者、バイヤー、生産者など、お互いにメリットとなり、大洲産品の販路拡大につながる取り組みを進めていきます。

### 【問い合わせ先】

商工業課営業戦略係

☎ 24 1722

## 被災地（熊本県・大分県）へ応援職員派遣

令和2年7月豪雨で甚大な被害を受けた熊本県球磨村、大分県日田市、由布市、九重町、玖珠町に市職員が派遣されました。

厚生労働省からの要請により、管理栄養士の宇都宮育子専門員（市保健センター）が球磨村に派遣されました。派遣期間は8月3日(月)から9日(日)の7日間で、被災者の栄養管理業務などに従事しました。

(写真下)



また、環境省からの要請により、平成30年7月豪雨災害で対策にあたった谷本晃一専門員（復興支援課）、山本晃専門員（治水課）の職員2人が大分県の4市町に派遣されました。

派遣期間は、8月10日(月)から12日(水)の3日間で、災害廃棄物処理に係る支援業務に従事しました。

(写真上)



DVDによる基調講演

家庭・地域と教育と福祉が連携し障がい児の理解を深める研修会が、8月19日(水)、大洲市総合福祉センターで開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら教育、福祉などの関係者約80人が参加し、基調講演、シンポジウムなどが行われました。

基調講演では、鹿児島県霧島市のNPO法人「こんぼす」代表の村岡伸祥のぶよしさんから「放課後等デイサービス事業所と学校が必要に応じて情報共有する仕組みを整えることができました」と取り組み事例の発表がありました。

支援の必要な子どもたちの明るい未来を目指して



シンポジウム

その後、市内の福祉、家庭、教育、地域の代表4人によるシンポジウムが開かれ、「関係機関の役割と理解、情報共有が必要である」、「先進地の優良事例がどの地域にもあてはまるベストな対応ではない。その地域のニーズに合った支援ができることが進んでいる地域である」、「教育と福祉が連携し、子どもと家族を中心とする一本化した支援が必要」などの活発な意見交換が行われました。

## 「知事とみんなの愛顔えがおでトーク」で提案



「知事とみんなの愛顔でトーク」が8月26日(水)西予市図書交流館で開催され、会場には南予5市町のさまざまな職種の10人が集結し、知事と意見交換が行われました。

知事からは、「県と20市町が連携しながらテーマを決めて協議し、実現していくよう頑張っています。積極的なご意見を伺いたい」と述べました。

大洲市からは2人の代表者が率直な提案を知事に要望し、それに対し知事が直接回答しました。



藤岡 一平いっぺいさん

「各業種のレベルアップ向上を図っていけるよう県として支援をしていただきたい」、「各業種からの問題点について提案したいのだがどうすれば良いか」など業界を代表して提案をしました。



竹岡 寿理じゅりさん

「地域観光業の活性化も含めコロナ検査体制の拡充」、「松山からの観光アクセスの対応策強化」、「地域DMOの在り方」、「大洲城に伊予の国の代表として知事に宿泊して欲しい」と提案をしました。

## 長浜中学校校舎および屋内運動場お披露目

長浜中学校校舎および屋内運動場のお披露目が8月11日(火)に行われました。

改築工事は平成29年10月から始まり、平成30年12月に新校舎、本年2月に屋内運動場、3月末に外構が竣工しました。

校舎は、普通教室、特別教室を日当たりのよい南向きに配置し、生徒の学習や生活環境に配慮しています。また、車いす対応のエレベータや、災害時に備えてグラウ

ンドから直接、屋上へ上がることができる外階段も設置しています。さらに玄関内外に4基の魚類

用水槽を設置して長浜高校水族館部から飼育方法を教わりながら、ふるさと文化部の生徒が餌やりや掃除を行っています。

屋内運動場は、愛媛県産の木材を多く使用、屋根材には塩害に強いステンレス板を採用し、太陽光発電パネルも設置しています。式に出席した二宮市長は「校舎



については、生徒数の減少に伴い適正規模への見直しを行う一方で、利便性や防犯面などを考慮した配置を行っています。また、災害時には避難所として活用できるよう、さまざまな整備を行っています。今回の施設整備に携わっていただいた保護者、事業者、関係機関のみなさんに心からお礼を申し上げます」と挨拶をいたしました。

### 整備内容

施設	構造	延床面積
校舎	鉄筋コンクリート造 4階建て	2,835㎡
屋内運動場	鉄筋コンクリート造 屋根下地組木造 平屋建て	947㎡



玄関ホール水槽



車いすにも対応できるエレベータ設置



多目的ホール（技術教室2階）

大洲北中学校技術教室棟および屋内運動場（平成30年9月着工、今年1月末竣工）のお披露目が8月21日（金）に行われました。

両施設の特徴は、内装に県産の木材（スギ・ヒノキ）を使用し、温かみのある空間を創出しています。さらに、部屋の窓を強化ガラスとしたほかLED照明を採用

大洲北中学校技術教室棟および屋内運動場をお披露目



技術教室棟

用し、安全対策、省エネルギー化を図っています。

技術教室棟は、1階に配膳室、2階に多目的ホールが設置されました。配膳室には、2階に給食を運ぶためのダムウエーターが整備され、効率的に作業することができますようにしました。多目的ホールは1学年4クラス約140人を収容することができます。また、空調設備も設置して災害時の避難所としても利用できます。

整備内容

施設	構造	延床面積
技術教室棟	鉄骨造 2階建	748.08㎡
屋内運動場	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 2階建て	1,500.15㎡

屋内運動場は、ステージを南側から西側に移動させたことで床面積を約300平方メートル増やすことができました。これにより、バレーボールやバスケットボールの競技ラインの外側に2メートル以上の安全領域を確保することができました。また、2階には蓄電池設備を設け、屋内運動場の屋根に設置された太陽光パネルで発電した電気をためることができ、災害時には屋内運動場の照明や非常用コンセントで使用することができます。



アリーナ



屋内運動場

## 新谷中学校の屋内運動場が完成



大洲市教育委員会では、「大洲市学校施設整備計画」に基づき、学校の耐震化と老朽箇所の改修を進め、このたび、新谷中学校の屋内運動場が完成しました。

アリーナの屋根組や壁には大洲市産の木材をふんだんに使用しています。改築前に比べて、延床面積を約370平方メートル広くしたことで、より安全で快適な学習環境となりました。

また、多くの人が利用しやすい施設となるようバリアフリー化を図り、災害時にも活用できる太陽光発電・蓄電池を設置しています。

なお、改築前の屋内運動場は、新谷出身の建築家である松村正恒まさつねさんが設計したものです。今回の改築に当たり、光や風の取り込み方、特徴的な形状の屋根など、随所に松村建築を意識した設計を心がけ、学校の歴史・伝統や地域の文化を継承した施設としています。

工事期間	床面積	構造
着工…平成31年3月 竣工…令和2年7月末	1091・78㎡	鉄筋コンクリート造 一部木造 2階建て

## 総務省 四国行政評価支局長表彰を受賞

8月31日(月)八幡浜市保内庁舎で行われた行政相談委員および市町行政相談業務連絡担当者地区会議において、大洲市行政相談委員の相原敏幸あいはらとしゆきさんが、総務省 四国行政評価支局長表彰を受賞されました。

今回の受賞は、住民からの行政に対する意見や要望を受け付け、その解決や実現のために地道な活動を行ってきたことが認められたものです。



## 花いっぱいプロジェクト

7月27日(月)、大洲農業高等学校生産科学科の協力により、中国四国農政局愛媛県拠点によるフラワーアレンジメント制作が行われました。これは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で花きの需要が減少し、市場での切り花などの価格が大幅に下落するなど、花き産業全体にとって厳しい状況が続いていることから、愛媛県産花きの消費拡大を図るために実施されたものです。

草花班の3人は、県内産のユリ、トルコキキョウ、ヒマワリなどの花材を使用して「幸せの三日月」と「太陽」というテーマで、「みなさんが明るく元気に暮らすことができるように」と願いを込めて制作しました。



生産科学科草花班

左から 中川悠雅さん 大森脩平しゅうへいさん、大見さくらさん

【しいたけとベーコンの春巻】



材料（4人分）	
春巻の皮	8枚
ベーコン	80g
生しいたけ	100g
玉ネギ	80g
ピザ用チーズ	40g
塩こしょう	少々
油	適宜
レタス	適宜
ケチャップ	適宜

作り方

- ① ベーコンは1cm幅に、生しいたけ、玉ネギは薄くスライスする。
- ② フライパンで①を炒め、塩こしょうで味をととのえる。
- ③ 春巻の皮に②、ピザ用チーズをのせて包む。
- ④ ③を揚げ焼きにする。
- ⑤ 皿に付け合わせ野菜と春巻きを盛って出来上がり。



※お好みでケチャップをつけてもおいしいです。

しいたけの特徴

免疫力を高め、風邪を予防するほか、食物繊維も豊富です。低カロリーでダイエットにも優れた食材です。また、干すことで旨味が増します。調理前に1時間ほど日光に当てると、カルシウムの吸収を助けるビタミンDが多くなり、骨や歯を丈夫にします。

【レシピ提供：大洲市保健センター】

野鳥



サンショウクイ（山椒食）  
スズメ目サンショウクイ科  
全長 20cm

本州などで子育てをして、9月中旬に赤道近くに移動する時に出合える旅鳥です。50年程前は大洲の山間部でも繁殖していて、独特の鳴き声で「ピリリッ、ピリリッ、ピリリッ」とよく鳴いていました。名前の由来は、山椒を食べたら口が「ヒリヒリ」して鳴くことからとされていますが、昆虫食で木の実を食べないので、適当に付けたのかも知れません。最近では四国での繁殖は確認されず、押し寄せる温暖化の影響で、南方系の渡りをしない亜種であるリュウキュウサンショウクイが北上し、定着しました。人類の果てしなき経済活動にともなう地球温暖化に対し、翼を持った野鳥たちは生息場所を移動させて命をつないでいます。この変化を適応とるか警告と感ずるかは、次世代にバトンタッチする私たちに掛かっていると思います。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

文化財



とよしげごうし しまい  
豊茂郷獅子舞  
市指定無形民俗文化財  
郷獅子舞保存会

豊茂郷獅子舞は、長浜町の豊茂地区西部に位置する郷地区で受け継がれている伝統的な民俗芸能です。

起源は、天保7年（1836）頃から始まったとされ、雄獅子は、肩車をして背高く踊る継ぎ獅子で勇壮さが感じられます。雌獅子は、笛と太鼓の軽やかなテンポに合わせ舞いますが、雄獅子よりも荒々しく感じます。このほか、子どもが扮する猿と狐が、雄獅子と雌獅子の2匹の獅子に付きまとい、獅子の恰好を真似して舞う姿は、市内の獅子舞とは異なったユーモラスな表現となっています。

この獅子舞は、勇壮さと面白さを併せ持つ特徴的な舞いのほか、市内でも数少ない継ぎ獅子を伝えている点からも、貴重な獅子舞と言えます。

（平成16年9月9日指定）

旧大洲市 (S34～)、旧長浜町 (S29～)、旧肱川町 (S39～)、旧河辺村 (S34～) の広報誌をシリーズ掲載します。あの頃のノスタルジックな空間へタイムスリップしてください。



過去の広報誌は、大洲市公式ホームページからも閲覧可能です。  
※旧肱川町は、R2～R3年度で掲載する予定です。



広報大洲 昭和34年 第35号表紙



昭和34年 広報大洲 (旧大洲市)

**【富士山を育てましょう 山腹を巡るドライブ・ウエー】**  
「……西側の山懐には盤珪禪師の開山になる如法寺の幽スイ境があり三二〇メートルの頂上には盤珪禪師の座禅石と称する巨石遺蹟のある所を、昭和三十二年から、山腹を巡るドライブウエーを建設中であり、将来これを自然公園として経営し、大洲に遊ぶ人の一大拠点とする計画をすゝめつゝあります。」

60年以上前に大洲の将来を見据えたシンボルとしての富士山公園の整備に着手しています。  
今年のツツジは見事でした。(㊦)



町の便り 昭和29年 第1号表紙



昭和29年 町の便り (旧長浜町)

**【桜の苗木が植えられます】**  
「港町一帯に植えた桜の木に、早くも1輪、2輪、可憐な花が開いています。港町のいい子の会では桜を一人ひとりが自分のものとして名札をつけ、大切に育ててくれています。育てた桜にはほとんど花がついていますが、路傍の主のない木には花がつくのは珍しい。管理の価値を雄弁に物語っております。」

この桜を植えて65年が経過しています。現在も残っているのでしょうか。(㊦)

# サウダージ (あの頃)



昭和39年  
 肱川(旧肱川町)



広報肱川 昭和39年 第1号表紙

### 給食料の増額について

値上げざるを得なくなつたのは、直接的には副食材料などの値上げが原因として、今までの通りの給食料では、国の示す栄養基準を維持出来なくなるのです。このため、給食審議会、町議会で、

給食料の納入方法  
 小学生 22円×200食=4,400円  
 中学生 27円×200食=5,400円

給食は十一月から、小学生22円、中学生27円とそれぞれ2円の増額になったわけですが、納入は十二月と致し、学年末の三月に通知を致し、調整して納入通知を致し、

年間給食料を参考までに、  
 小学生 22円×200食=4,400円  
 中学生 27円×200食=5,400円

### 【給食料の増減について】

「1食あたり、小学生22円、中学生27円とそれぞれ2円の増額になったわけです。」  
 1人当たりの1年間の給食料 (S39)  
 小学生 22円×200食=4,400円 中学生 27円×200食=5,400円

令和2年6月現在の給食費は、小学生245円、中学生265円で、約10倍になっています。(大洲市学校給食センター)  
 1人当たりの1年間の給食費 (R2.6)  
 小学生 245円×200食=49,000円 中学生 265円×200食=53,000円 (㊦)

昭和29年  
 河辺村公民館報(旧河辺村)



河辺公民館報 昭和29年 創刊号表紙

### 辞の発刊

河辺村公民館長 藤田勲主計

「……殊に本村はかねて喪失して復旧を急いで居りました河邊小学校が新築落成を見、續いで災害復旧土木事業として北平上流方面並に川崎方面の道路の改修及び円永橋、長崎橋の架設が竣工し村民一同愁眉を開き、次いで消防施設を改め移動式動力ポンプ二台を購入し一朝有事備え、更に診療所設置に依り医療行政に明るい第1歩を刻み機動性を付興し警察行政上駐在所管轄が広域且つ不便であるので、矢張り自動軽二輪車を備えつける等……」

### 【發刊の辞】

「……殊に本村はかねて喪失して復旧を急いで居りました河邊小学校が新築落成を見、續いで災害復旧土木事業として北平上流方面並に川崎方面の道路の改修及び円永橋、長崎橋の架設が竣工し村民一同愁眉を開き、次いで消防施設を改め移動式動力ポンプ二台を購入し一朝有事備え、更に診療所設置に依り医療行政に明るい第1歩を刻み機動性を付興し警察行政上駐在所管轄が広域且つ不便であるので、矢張り自動軽二輪車を備えつける等……」

終戦から8年が経過し、小学校、道路、消防設備、医療などが充実し、急速な高度経済成長へ向かっていきます。ただ、文章が長くまだまだ続いています。(㊦)